

- 今後、イノベーション・コースト構想において具体化が進展する拠点について、その事業化に向けた課題の抽出、進捗状況の管理、各拠点間の連携等に関し、国、県、産学合同で構想を推進する体制を構築。「イノベーション・コースト構想推進会議」とも連携して推進。
- ロボット関連拠点の整備や管理運営については、国と福島県が連携しながら関係機関と総力を挙げて、様々なリソースを活用した取組を行っていく。

1. イノベーション・コースト構想拠点（※）の運営・推進に係る体制の構築

※ロボットテストフィールド、共同利用施設の他、情報発信拠点、技術者研究拠点、国際産学官共同利用施設等も含む。

新たな体制のイメージ

趣旨

イノベーション・コースト構想におけるロボット関連拠点や廃炉関連拠点をはじめとした各拠点の着実な運営と、成果の早期創出につなげるべく、国、県を中心として、各拠点の関係主体間での調整・連携等を通じて構想を推進する。

役割

- イノベーション・コースト構想拠点が一体的に運営されるよう、国、県、関係主体の認識を共有・統一する機能を担う。
- 各拠点の事業計画を議論し、必要な調整を行う。
- 各拠点の関係主体から実施状況の報告を受ける など

イノベーション・コースト 構想推進会議

- 全体構想の企画立案
- 構想の具体化・実現に向けた方策についての意見交換
- 個別検討会における検討状況の報告

連携

個別検討会

- 具体化が必要な内容について方向性、課題等を整理。

2. 国、県、産学の連携体制の構築

連携体制の全体像(イメージ)

